

# 今年も発生、ホール駐車場の子供の車内放置死

## 巡回したが発見されず

ば、堀容疑者は途中で車に戻ったときも窓を開けずに、由利本荘署の調べに「長男が生まれる前は月に2、3回パチンコをしていたが、生まれてからは行ってなかった。入店してすぐに大当たりしたので止められなかった」と供述しているという。

### スモークシートが貼られ見えにくかった

「パチンコ21本荘店」は店入口に全日遊連の「やめて!!子供の車内放置」というポスターを貼付。午前10時、12時、午後3時、6時の4回(秋田魁新報では5回)駐車場巡回と店内放送を実施。チャイルドシートのある後部座席は写真のようにスモークシートが貼られ見えにくかったこともあり、12時の巡回では発見されなかった。秋田県遊協では今後は1時間おきの巡回とスモークシートを貼った車内の入念な確認を、組合員に指導したとRSNは伝えている。

全日遊連は平成16年度(16年4月)から実態調査と防止対策の指導を開始したが、車内放置死が1件もなかったのは19年1年間だけで、20年4月14日には鹿児島で発生。10年から17年までの8年間で16件発生(秋田魁新報)したことに比べれば対策を講じて半減したが、保護者の責任とはいえず、ホールがさらに気を引き締めてかかるしかないようだ。

## 車内放置乳児死亡

### パチンコ中、容疑で母逮捕

由利本荘署

27日午後1時半ごろ、由利市上大野の「パチンコ21本荘店」の駐車場で、生後11か月の長男が車の中で亡くなった。母は心肺停止状態で由利本荘署に搬送された。母は心臓病を患っており、長男は心臓病を患っていた。母は心臓病を患っており、長男は心臓病を患っていた。母は心臓病を患っており、長男は心臓病を患っていた。

### 車内50度超の可能性

朝から日が差した由利本荘市の27日の最高気温は29.3度。母親が車に戻ったほぼ同時刻に記録した。日本自動車連盟(JAF)本部広報部によると、この外気温で午前11時ごろから直射日光を浴び続けると、車内は50度を超えていた可能性がある。「直射日光は短時間で車内温度を上昇させる。乳児は熱中症になり、病院に運ばれたが死亡したというニュースを伝える8月28日の秋田魁(さきがけ)新報の記事。記事内の写真が乳児が放置されていた車だ。翌日にはこの2倍のスペースで続報。記事中、秋田県遊協によればホール駐車場の子供の車内放置死は初めてのケース。放置された子供の発見は平成19年度1件、20年度1件、21年度3件(8月28日現在)だった。

「店員は「対策を講じていたのだが、残念だ」と話した。店員は「対策を講じていたのだが、残念だ」と話した。



児を車の中に放置し死亡させ、死の疑いで母親を逮捕した。たどして、保護責任者遺棄致し罪に問われると、母親は窓を閉め切った乗用車の後部座席のチャイルドシートに長男を寝かせ、午前11時前後から2〜3時間、パチンコを母に放置された乳児が死亡した車(手前) 27日午後6時30分、由利本荘市のパチンコ店駐車場

8月26日の秋田魁新報

それから今までの同様の事例から、発生してしまっただけのものや未然に防止した事例を紹介して、今後の未然防止を図ったという。

秋田魁新報によれば、由利本荘署は28日未明に母親の無職堀淳子容疑者(31歳)を保護責任者遺棄致死の疑いで逮捕。堀容疑者は容疑を認め「2、3回駐車場に戻って(長男の様子を)確認したが変わった様子はなかった。パチンコはちよっとだけのつもりだった。大変なことをしてしまった」と供述。

堀容疑者は午前中に、数日前に手をやけどした龍成ちゃんを病院に連れて行き、治療を終えた後の午前10時15分ごろにパチンコ店に到着し、エンジンを切り窓を閉め切ったまま午後1時半ごろまで放置した。同時刻の気温は29.3度。依存問題対策のリカバリーサポート・ネットワーク(RSN、32ページ)に「関係記事」の情報によれば、堀容疑者は途中で車に戻ったときも窓を開けずに、由利本荘署の調べに「長男が生まれる前は月に2、3回パチンコをしていたが、生まれてからは行ってなかった。入店してすぐに大当たりしたので止められなかった」と供述しているという。

「パチンコ21本荘店」は店入口に全日遊連の「やめて!!子供の車内放置」というポスターを貼付。午前10時、12時、午後3時、6時の4回(秋田魁新報では5回)駐車場巡回と店内放送を実施。チャイルドシートのある後部座席は写真のようにスモークシートが貼られ見えにくかったこともあり、12時の巡回では発見されなかった。秋田県遊協では今後は1時間おきの巡回とスモークシートを貼った車内の入念な確認を、組合員に指導したとRSNは伝えている。

今年もとうとう、ホール駐車場の子供の車内放置死が発生してしまった。右は8月27日に「パチンコ21本荘店」(秋田県由利本荘市上大野)の駐車場の車内で、母親がパチンコ中に11か月の乳児

置死は初めてのケース。放置された子供の発見は平成19年度1件、20年度1件、21年度3件(8月28日現在)だった。

本誌の電話取材に由利本荘署の広報担当小川浩司副署長は「遊技業組合(由利本荘地区遊技業組合)には前々から指導していた。だから(ホールは)実際に見回りをやっていたしポスターも貼っていた。その店も貼っていたようだ。そして見回りで発見した場合に店内放送で保護者に連絡している」と回答。

「これを機に何か組合に指導したか」という質問には「先週金曜日(事件の翌日)の午後に、遊技業組合の6業者9店を当署に招集して緊急対策会議を実施した。担当者(署長ら)が出て、今までもやってきただろうが巡回やポスター掲示を徹底するように指導した。

「パチンコ21本荘店」は店入口に全日遊連の「やめて!!子供の車内放置」というポスターを貼付。午前10時、12時、午後3時、6時の4回(秋田魁新報では5回)駐車場巡回と店内放送を実施。チャイルドシートのある後部座席は写真のようにスモークシートが貼られ見えにくかったこともあり、12時の巡回では発見されなかった。秋田県遊協では今後は1時間おきの巡回とスモークシートを貼った車内の入念な確認を、組合員に指導したとRSNは伝えている。